

” 日本初の国葬の日”



1883(明治 16)年の 7 月 25 日、明治維新に大きな役割を果たした岩倉具視の葬儀が、日本で最初の「国葬」として、盛大に執り行われました。

「国葬」とは国が国家の儀式として国費で行う葬儀で、官庁や学校は休みとなり、全国民は喪に服し、「国葬」を厳粛に送ることとされておりました。

現代の日本においては、「国葬」に関する法律が廃止されたため、国家規模のお葬儀は行われていません。

ハナブ商店では、お葬儀の規模に関わらず、故人様やご遺族様のご意向に添ったお葬式をお手伝いさせていただいております。

社葬でも密葬でも命の尊さは同じです。もしものときは安心してハナブ商店にお任せ下さい。

“茨木市立斎場での家族葬は”



想いをかたちに…

株式会社ハナブ商店

大阪府茨木市寺田町 10-26 TEL:072-622-2222